

県政記者室にあわせて情報提供しております。



平成29年11月24日(金)

(公財)かがわ産業支援財団 ファンド事業推進課  
担当 岩井、中武、小西 (TEL 087-868-9903)  
産業政策課 産学官連携・国際戦略G(内線 3453)  
担当 渡邊、福家 (TEL 087-832-3353)

## かがわ農商工連携ファンド 平成30年度事業募集開始!!

(公財)かがわ産業支援財団では、平成21年度に造成した「かがわ農商工連携ファンド」を活用して、県内の中小企業者と農林漁業者が連携し、互いの経営資源を生かして取り組む商品開発等を支援しています。

この事業では、香川県の様々な特産品を生かした新商品づくりをはじめ、農商工連携事業で開発した商品の販路開拓も支援します。

この度、平成30年度の助成事業を次のとおり募集します。(〆切:平成30年1月15日(月))  
皆様の積極的なご応募をお待ちしています。

### 1. 支援メニュー

	①新商品等開発支援事業	②販売力強化・ブランド化支援事業
助成対象者	新商品等の開発とその販路開拓について、新たに取組もうとする県内の中小企業者と農林漁業者で構成される連携体。	農商工連携事業で開発した商品等の販路開拓に、新規に取り組もうとする県内の中小企業者と農林漁業者で構成される連携体。
助成対象経費	● 新商品及び新サービスの開発費 原材料費、機械装置・工具費、外注加工費、試験検査費、産業財産権取得費、委託費等 ● 販路開拓費 広告宣伝費、国内見本市出展費、市場調査費、委託費等	● 市場調査・販路開拓費 販路開拓に係るマーケティング調査費、国内見本市出展費、委託費等
助成率	2/3 以内	2/3 以内
限度額	20万円以上 400万円以下	20万円以上 100万円以下
助成期間	最長1年10ヶ月	最長1ヶ年
採択予定件数	10件程度	1件程度

### 2. 応募方法

応募にあたっては、所定の申請書様式と添付書類に必要事項を記載のうえ、各支援メニュー記載の申込先に提出してください。

申請書様式等は、(公財)かがわ産業支援財団のホームページ(<http://www.kagawa-isf.jp/>)からダウンロードできます。

### 3. 募集期間

平成29年11月27日(月)～平成30年1月15日(月) 必着

### 4. 助成の対象となる事業の決定

書類審査及びヒアリング等の後、専門家等で構成する審査会での審査を経て決定。  
申請者は審査会で事業説明(プレゼンテーション)を実施。

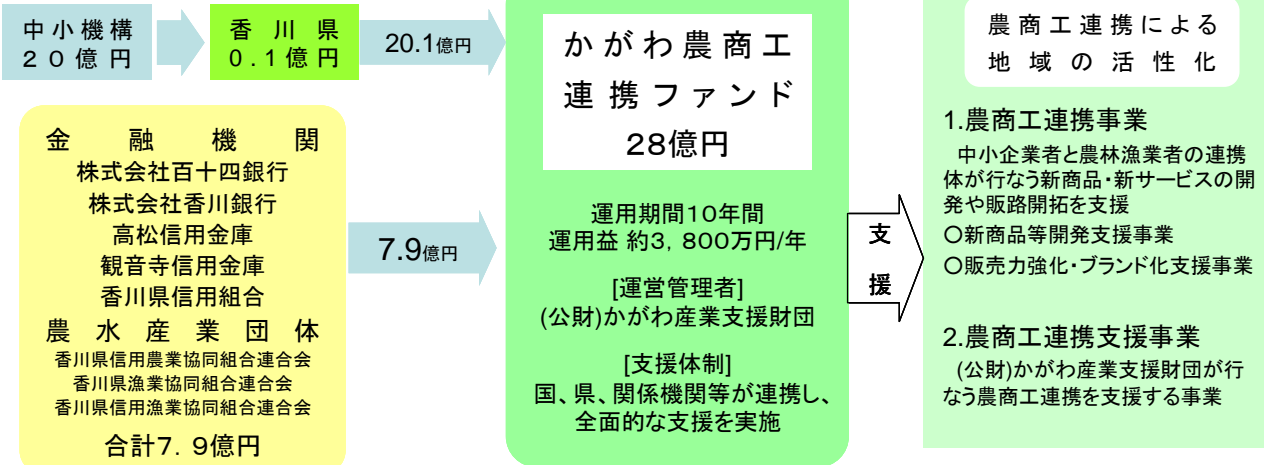
### 5. お問い合わせ・申込先

(公財)かがわ産業支援財団 ファンド事業推進課 岩井、中武、小西

〒761-0301 高松市林町 2217-15 香川産業頭脳化センタービル2F

TEL 087-868-9903/FAX 087-869-3710 財団ホームページ <http://www.kagawa-isf.jp/>

## かがわ農商工連携ファンド事業のスキーム



## これまでのかがわ農商工連携ファンド支援事例

### 四海漁港で水揚げされたハモを活用したそばろ煮など加工食品の開発・製造・販売

### 香川県産養殖海苔を用いた半生麺ラーメンの商品開発と販路開拓

【中小企業者】  
タケサンフーズ株式会社  
(小豆島町)



長年培った食品加工製造技術で新しい商品展開を希望

【農林漁業者】  
四海漁業協同組合  
(土庄町)



ハモの安定出荷や余剰ハモの有効活用、島ハモの認知

【中小企業者】  
麺処希信  
(高松市)



地元素材を活かしたラーメンをお土産商材にしたい

【農林漁業者】  
浜谷水産  
(高松市)



海苔養殖・製造業の過程で出る未利用海苔を有効活用

連携

連携

規格外や時期外れのハモを、漁協が一次加工体制を強化して出荷し、タケサンフーズが高級感のあるハモ商品に加工。「小豆島島鯉」ブランドを推進し、両者の経営体制を向上させた。



島鯉シリーズ  
(島鯉めし、島鯉茶漬け、島鯉しぐれ)

粉状、破れなど、板海苔の未利用資源を活用し、地域色豊かな「海苔らーめん」を商品開発した。香川県産海苔の普及PRにもつながるお土産商材として両者で県内外に販路を拡大。



海苔らーめん